

気象台からの情報提供

- 令和3年の大雨警報・洪水警報発表回数
- 令和3年8月4日の大雨事例
- 3か月予報（5月24日発表）
- 令和4年出水期の防災気象情報の主な改善事項



気象庁

札幌管区気象台

Sapporo Regional Headquarters

Japan Meteorological Agency

▶ 令和3年の大雨警報・洪水警報発表回数



気象庁

札幌管区気象台

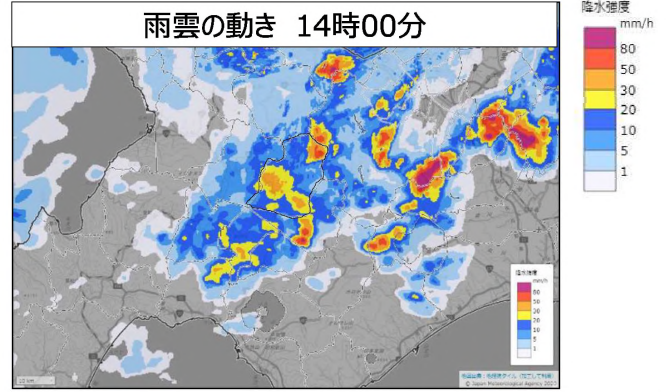
Sapporo Regional Headquarters
Japan Meteorological Agency

発表官署	発表地域	警報の種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年合計
札幌管区気象台	石狩・空知・後志地方	大雨特別警報													
		大雨警報						2		4	1	2			9
		洪水警報						1		2	1	1	1		6
稚内地方気象台	宗谷地方	大雨特別警報													
		大雨警報								4	2	4			10
		洪水警報								1	1	1			3
旭川地方気象台	上川・留萌地方	大雨特別警報													
		大雨警報						4	1	1	2	2			10
		洪水警報						4	2	1	3	2			12
網走地方気象台	網走・北見・紋別地方	大雨特別警報													
		大雨警報							1	4	4	1			10
		洪水警報				1			1	3	1	1	1		8
釧路地方気象台	釧路・根室地方	大雨特別警報													
		大雨警報				1			1		3		1		6
		洪水警報				1			1		2				4
帯広測候所	十勝地方	大雨特別警報													
		大雨警報				1		2	1	2	1		1		8
		洪水警報				1		2	1	2			1		7
室蘭地方気象台	胆振・日高地方	大雨特別警報													
		大雨警報						3		1	1	1	1		7
		洪水警報						3		1	1		1		6
函館地方気象台	渡島・檜山地方	大雨特別警報													
		大雨警報					1			3		1	3		8
		洪水警報					1			1		1	2		5
合計		大雨特別警報													
		大雨警報				2	1	11	4	19	14	11	6		68
		洪水警報				3	1	10	5	11	9	6	6		51

平成30年の発表回数合計 … 大雨特別警報なし、大雨警報 43回、洪水警報42回
 令和元年の発表回数合計 … 大雨特別警報なし、大雨警報 29回、洪水警報26回
 令和2年の発表回数合計 … 大雨特別警報なし、大雨警報 34回、洪水警報23回
 令和3年の発表回数合計 … 大雨特別警報なし、大雨警報 68回、洪水警報51回

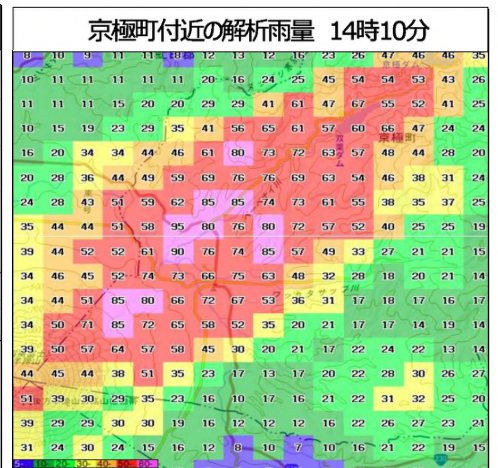
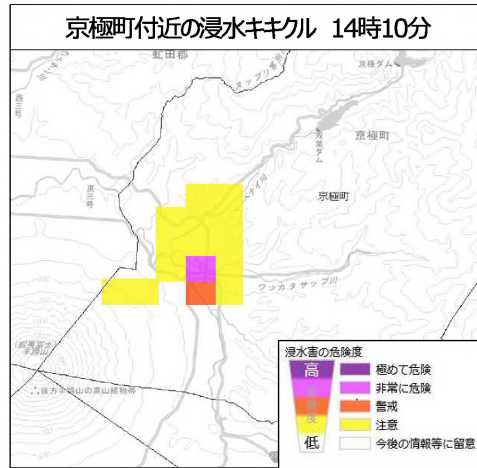
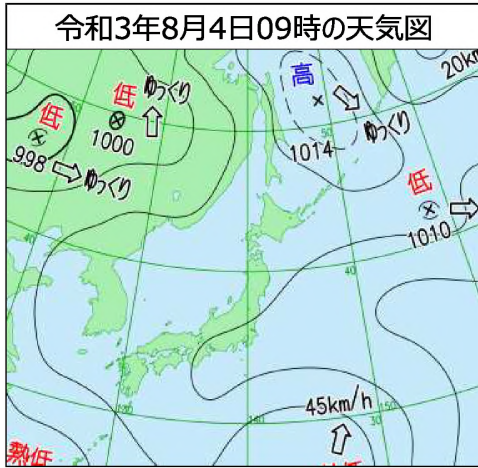
令和3年8月4日の大雨事例

- ▶ 北海道付近は、暖かく湿った空気と上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となり、後志地方を中心に雨雲が急発達して局地的に猛烈な雨が降った。
- ▶ 気象台では大雨警報（浸水害）、洪水警報や、記録的短時間大雨情報を発表した。



石狩・空知・後志地方記録的短時間大雨情報 第1号
令和3年8月4日14時26分 気象庁発表

14時10分北海道で記録的短時間大雨
京極町付近で約100ミリ



2

3か月予報（5月24日発表）

予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう3か月の気温は高いでしょう。
- 向こう3か月の降水量は、ほぼ平年並の見込みです。

北海道地方 3か月予報（06月～08月）		
2022年05月24日14時00分 札幌管区気象台 発表		
06月～08月	気温	平均気温は、高い確率50%です。
06月	天候	天気は数日の周期で変わるとでしょう。
	気温	気温は、平年並または高い確率とともに40%です。
07月	天候	北海道日本海側では、天気は数日の周期で変わるとでしょう。北海道オホーツク海側・太平洋側では、平年と同様に曇りの日が多いとでしょう。
	気温	気温は、平年並または高い確率とともに40%です。
08月	天候	天気は数日の周期で変わるとでしょう。
	気温	気温は、平年並または高い確率とともに40%です。

気温、降水量の各階級の確率（%）			
気温	北海道地方	06月～08月	20 30 50
		06月	20 40 40
		07月	20 40 40
		08月	20 40 40
降水量	北海道地方	06月～08月	30 40 30
		06月	30 30 40
		07月	30 40 30
		08月	30 40 30

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

※次回の3か月予報発表は6月21日（火）です。

3

令和4年出水期の防災気象情報の 主な改善事項

1. キキクル（危険度分布）「黒」の新設と「うす紫」と「濃い紫」の統合
2. 大雨特別警報（浸水害）の改善
3. 線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ

4

1.① キキクル（危険度分布）「黒」の新設と「うす紫」と「濃い紫」の統合

令和4年6月30日から

警戒レベル4に相当するキキクル（危険度分布）は**紫**です

色	警戒レベル
黒	5相当
紫	4相当
赤	3相当
黄色	2相当
白(水色)	-

これまでのキキクル	
色	警戒レベル
濃い紫	-
うす紫	4相当
赤	3相当
黄色	2相当
白(水色)	-

特別警報基準値超過を「黒」で表示

警戒レベル4の「紫」と一致



**「紫」が出現した段階で
速やかに安全な場所に
避難する判断を！**



九州北部豪雨における赤谷川の被害状況
(平成29年7月7日国土地理院撮影)

5

1.② 洪水キキクルの色に応じた住民等の行動の例

色が持つ意味	状況	住民等の行動の例※1・2	内閣府のガイドラインで発令の目安とされる避難勧告	相当する警戒レベル
災害切迫 大雨特別警報 (浸水害)の指標に用いる基準に実況で到達	重大な洪水災害が切迫。 洪水災害がすでに発生している可能性が高い状況。	(立退き避難がかかって危険な場合) 命の危険 直ちに身の安全を確保!	緊急安全確保 ※5	5相当
<警戒レベル4までに必ず避難!>				
危険 3時間先までに警戒基準を大きく超過した基準に到達すると予想	水位周知河川・その他河川がさらに増水し、今後氾濫し、重大な洪水災害が発生する可能性が高い状況。	水位が一定の水位を超えている場合には、安全な場所へ避難する。※3	避難指示	4相当
警戒 3時間先までに警戒基準に到達すると予想	洪水災害への警戒が必要な状況。	水位が一定の水位を超えている場合には、高齢者等は安全な場所へ避難する。※4 高齢者等以外の方も、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自ら避難の判断をする。	高齢者等避難	3相当
注意 3時間先までに注意基準に到達すると予想	洪水災害への注意が必要な状況。	ハザードマップ等により避難行動を確認する。 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	2相当
今後の情報等に留意	—	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	—

- ※1 洪水キキクルに関わらず、自治体から避難勧告が発令された場合や河川管理者から氾濫危険情報等が発表された場合には速やかに避難行動をとること。
- ※2 洪水予報河川の外水氾濫については、洪水キキクルではなく、河川管理者と気象台が共同で発表している指定河川洪水予報等を踏まえて避難勧告が発令されるため、それらに留意し、適切な避難行動を心がけること。
- ※3 洪水予報河川・水位周知河川以外で水位を観測していない河川においては、現地情報を活用した上で、洪水キキクル(紫)を参考に安全な場所へ避難する。
- ※4 洪水予報河川・水位周知河川以外で水位を観測していない河川においては、洪水キキクル(赤)を参考に高齢者等は安全な場所へ避難する。
- ※5 災害が発生・切迫している状況を市町村が必ず把握することができるとは限らないこと等から、緊急安全確保は必ず発令される情報ではない。また、警戒レベル5相当情報が出たからといって、必ず緊急安全確保が発令されるわけではない。

6

1.③ 浸水キキクルの色に応じた住民等の行動の例

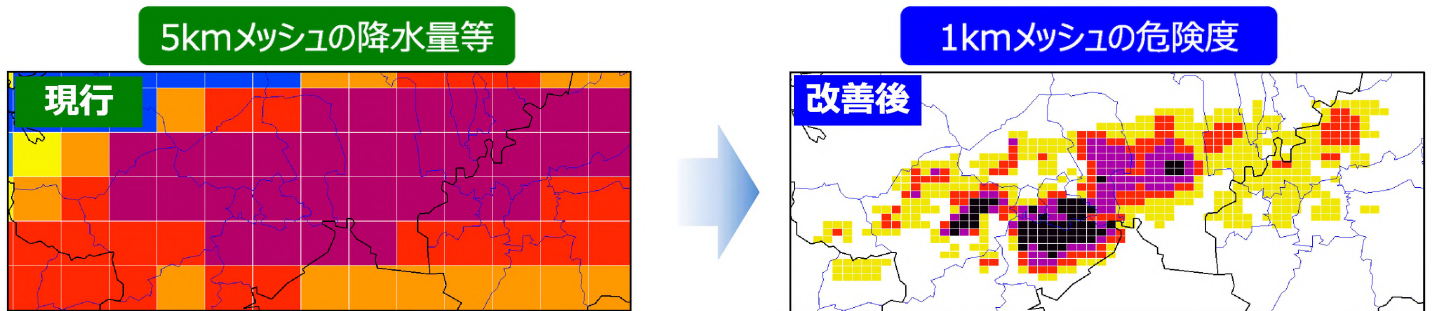
色が持つ意味	住民等の行動の例※	想定される周囲の状況例
災害切迫 大雨特別警報(浸水害)の指標に用いる基準に実況で到達	(立退き避難がかかって危険な場合) 命の危険 直ちに身の安全を確保! 【警戒レベル5相当】	重大な浸水害が切迫。浸水害がすでに発生している可能性が極めて高い状況。
<警戒レベル4までに必ず避難!>		
危険 1時間先までに警戒基準を大きく超過した基準に到達すると予想	周囲の状況を確認し、 各自の判断で、屋内の浸水が及ばない階に移動 する。	道路が一面冠水し、側溝やマンホールの場所が分からなくなるおそれがある。道路冠水等のために鉄道やバスなどの交通機関の運行に影響が出るおそれがある。周囲より低い場所にある多くの家屋が、床上まで水に浸かるおそれがある。
警戒 1時間先までに警戒基準に到達すると予想	安全確保行動をとる準備 が整い次第、早めの行動をとる。高齢者等は速やかに安全確保行動をとる。	側溝や下水が溢れ、道路がいつ冠水してもおかしくない。周囲より低い場所にある家屋が、床上まで水に浸かるおそれがある。
注意 1時間先までに注意基準に到達すると予想	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意。ただし、 各自の判断で、住宅の地下室からは地上に移動し、道路のアンダーパスには近づかないようにする。	周囲より低い場所で側溝や下水が溢れ、道路が冠水するおそれがある。住宅の地下室や道路のアンダーパスに水が流れ込むおそれがある。周囲より低い場所にある家屋が、床下まで水に浸かるおそれがある。
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意。	普段と同じ状況。雨のときは、雨水が周囲より低い場所に集まる。

※ 浸水キキクルに関わらず、自治体から避難勧告が発令された場合や下水道管理者から氾濫危険情報等が発表された場合には速やかに避難行動をとること。

7

2.① 大雨特別警報（浸水害）の改善

令和4年6月30日から大雨特別警報（浸水害）の発表について、5kmメッシュの降水量等を用いた手法から、1kmメッシュの「危険度」を用いた手法へ改善。



警戒レベル5相当の状況に一層適合させるよう、災害発生との結びつきが強い「指数」を用いて大雨特別警報の新たな基準値を設定。

レベル5相当の情報としての信頼度を高め、自治体の防災対応を強力に支援。

8

2.② 大雨特別警報（浸水害）の改善

大雨特別警報（浸水害）の新たな発表条件

以下の①又は②を満たすと予想される状況において、当該格子が存在し、かつ、激しい雨がさらに降り続けると予想される市町村等に発表。

① 流域雨量指数の指標

流域雨量指数として定める基準値（洪水キキクル紫の基準からの超過率として都道府県毎に設定）以上となる1km格子が20個以上まとまって出現。

② 表面雨量指数の指標

表面雨量指数として定める基準値（浸水キキクル紫の基準からの超過率として都道府県毎に設定）以上となる1km格子が30個以上まとまって出現。

新指標へ移行後の大雨特別警報（浸水害）は、中小河川の氾濫及び内水氾濫を対象として発表し、発表区域も大幅な絞り込みが可能となる。

大河川の氾濫に関しては、洪水予報の「氾濫発生情報」により警戒を呼び掛ける。

9

3. 線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ



- 令和4年6月1日から、「顕著な大雨に関する気象情報」の発表基準を満たすような線状降水帯による大雨の可能性のある程度高い場合に、「気象情報」において、半日程度前から地方予報区単位等で呼びかけ、情報の充実を図る。 ※地方予報区：全国を11ブロックに分けた地域
- 警戒レベル相当情報を補足する解説情報として発表。

大雨に関する北海道地方気象情報 第〇号
〇年〇月〇日〇時〇分 札幌管区気象台発表

<見出し>

北海道地方では、〇〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。

<本文>

～ 以下、省略 ～

線状降水帯による大雨の可能性が発表されたとき

- ・線状降水帯が発生すると、大雨災害発生の危険度が急激に高まることがあるため、心構えを一段高めていただくことを目的として呼びかけを行う。この呼びかけだけで避難を促すわけではなく、ほかの大雨に関する情報と合わせてご活用いただきたい。
- ・市町村の防災担当の皆さまには、避難所開設の手順や水防体制の確認等、災害に備えていただくことが考えられる。
- ・住民の方々には、大雨災害に対する危機感を早めにもっていただき、ハザードマップや避難所・避難経路の確認等を行っていただくことが考えられる。